

授業科目	理学療法概論				
担当者	藪中良彦, 佐藤睦美, 岩田篤 (すべて実務経験者)			(オムニバス)	
実務経験者の概要	藪中良彦 (理学療法士として, 肢体不自由施設で20年, 小児訪問リハビリテーションで5年の実務経験) 佐藤睦美 (理学療法士として, 大学附属病院等での実務経験あり) 岩田篤 (理学療法士として神経疾患を多く有する慢性期病院での実務経験あり)				
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

理学療法士になる事を目標に入学してきてはいるが、理学療法のわずかな部分の知識しかない学生に対して、今後4年間学ぶ理学療法の大枠を示す。

■ 到達目標

理学療法の大枠を理解することにより、今後4年間で学ばなければならない内容の概略を把握する。

■ 授業計画

- 第1回 当大学の理学療法学専攻のカリキュラムの解説。
理学療法の歴史, 理学療法の定義, 理学療法を構成する各種技術の概要, 理学療法とリハビリテーション。
- 第2回 理学療法と障害, 医学の領域, 理学療法の対象。
- 第3回 理学療法の流れ (理学療法過程), クリニカルパス, 理学療法における診療ガイドラインの適用。
- 第4回 理学療法士の使命と倫理, 理学療法士に関する法律, 理学療法士に求められる資質, 接遇・コミュニケーション
- 第5回 理学療法士が働く現場
- 第6回 理学療法士の職能
- 第7回 理学療法 (士) 教育
- 第8回 中枢神経疾患理学療法概論
- 第9回 骨関節疾患理学療法概論 (スポーツリハビリテーションを含む)
- 第10回 小児理学療法概論
- 第11回 感染予防
- 第12回 理学療法研究
- 第13回 理学療法士と報酬
- 第14回 医療事故
- 第15回 理学療法記録とまとめ方, 臨床実習において学生に求められるもの

■ 評価方法

出席 [欠席-4点、遅刻/早退-2点、居眠り-1点]

小テスト+予習課題 [50点]

科目試験 (筆記試験) [50点]

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格 (留年) とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

次の授業の範囲を明示するので、その範囲を予習し、不明な2つの項目について調べてまとめを提出する。また、第1回目の授業を除き、毎回前回の授業内容に関する小テスト（20問程度の穴埋め問題）を行い、授業の復習を促す。

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 教科書

書名：理学療法概論テキスト（理学療法入門テキスト 改訂第3版）
著者名：監修 細田多穂、編集 中島喜代彦、森田正治、久保田章仁
出版社：南江堂

■ 参考図書

■ 留意事項

毎回出席し、予習・復習をしっかりと行ってください。

■ 講義受講にあたって

「理学療法概論」において4年間の理学療法学の学習の大枠を理解することで、各専門基礎科目および各理学療法専門科目を目的をしっかりと理解して学習することができるようになる。